

東京都立大学公開講座

海を渡る軽石

2024年7月21日(sun) 19:00-20:30
ビジターセンター新館ホール
参加費無料

『伊豆・小笠原諸島の
火山と軽石漂流』



講師 石村大輔

(東京都立大学 都市環境学部 地理環境学科 助教)

東京都は国内で最も多くの活火山を抱える都道府県で、その多くが伊豆・小笠原諸島に分布する火山島や海底火山です。特に近年、小笠原諸島の西之島、硫黄島、福徳岡ノ場では噴火が発生し、ニュースになっています。中でも、2021年福徳岡ノ場噴火では、大量の軽石が噴出し、洋上に浮遊し、約2ヶ月後に沖縄や奄美大島などの島嶼に大量漂着して社会問題となりました。本講演では、火山について説明するとともに、火山噴火で発生した軽石の漂流・漂着を中心に紹介します。



沖縄本島の漂着軽石

『今の海岸にある
漂着軽石』



講師 平峰玲緒奈

(国立歴史民俗博物館 研究部 プロジェクト研究員)

海岸を歩いていると、軽石が漂着していることに気づくことがあるかと思います。軽石は見かけ比重が1以下であることが多いため、何らかの理由で海域に流入すると、どこかに漂着するか海底に沈むまで、漂流し続けることになります。海岸に漂着している軽石がどこからやってきたのか気になりませんか？本講演では、現在の海岸にある漂着軽石の研究を示し、身近にある火山噴火の痕跡を紹介します。



鹿児島県吹上浜で採取した漂着軽石